

事業者向け

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	5	2		確保できていますが、遊びの内容によってスペースを十分に確保しながら、事故や怪我のないよう子供が楽しめる内容を考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	6	1		適切な配置数で運営しています。加算申請も行き、基準を満たした配置にしております。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の 配慮が適切になされているか	2	4	1	バリアフリー化の必要性はないですが、安全に配慮した環境整備をしています。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされている か？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収 材の取付など）	7			窓の縁にクッション材を設置、壁の補強をし、怪我防止に配慮した措置を行っています。また、事故につながるような物品は活動室に置かず小まめに片づけたりなど、環境への配慮を行っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、 広く職員が参画しているか	7	1		必ず月1回ミーティングを行い、職員全員が支援に対して考えを出し、情報共有をしながら全体で支援の方向性を決めていく取り組みをさまざまな形で考えていきます。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート 調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務 改善につなげているか	5	2	1	活動内容以外にもご要望やご提案をアンケートやさまざまな形でお気持ちを聞き取り、さらに活動の幅を上げたりまたは改善していきながら、少しでも満足いくような支援に向けていきます。
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ 等で公開しているか	6	1		自己評価の結果はホームページで公開します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	2	4	1	本社・フランチャイズ本部の評価をまずはしっかりと聞いていきながら、業務改善が必要な点を精査し、運営状況を見直していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	7			市で開催する研修、または内部研修を実施し、日常の支援を振り返ったり、見直していく機会を今後も設けていきます。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	6	1		事業所以外での過ごしや困りごとを面談の機会を設けて聞いていきながら、何が最も必要な支援なのかを関係機関や保護者と共有し、計画作成に結びつけています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	3	4		1年毎にシートを作成（保護者にも協力）をしていきながら、成長に合わせた支援方法・目標に達成に向けた取り組みの内容を考えながら、子どもが過ごしやすい環境作りにつなげていきます。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		活動の内容（日案）を支援者一人一人考えていき、チームで活動をするにあたっての問題点等はお互いに話し合っており、準備等の見直しを図りながら今後も立案・実施をしていきます。
	13	活動プログラムが固定化しないように工夫して いるか	6	1		毎日内容は変えていきながら、さらに発展があったり、段階的な変化をつけた取り組み内容を考えていき子どもが楽しめる活動内容を取り入れていきます。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細 やかに設定して支援しているか	5	2		年齢に応じて取り組む課題または活動内容、保護者の方の移行も考えた上で、取り組むことが難しいこともあります。成長に合わせて積極的にトライしていくことも保護者とお互いにプラスの理解をしていただけるように話し合っていくことが必要と思います。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	7	1		集団での生活にどのように上手く順応できるかどうかは、個別で様子を見ていくこと・ピックアップして話し合っていくことが必要なため、ミーティング等で普段の様子を確認し、計画作成に活かしていきます。
	16	支援開所前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認 しているか	7	1		子どもの受け入れの時間前に支援内容の確認や役割をあらかじめ決めていき、イレギュラーにも対応できるように話して合っているため、今後もそういった確認をしっかりと行い、業務が円滑に進んでいくように準備を行っていきます。
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、 その日行われた支援を振り返り、気づいた点を 共有しているか	5	2		送迎の戻りによっては、その日の振り返りができないことも多いですが、工夫しながら時間を作っていくようにし、できなくても翌日の朝には振り返りを行いながら支援に臨めるようにしていきます。	

適切な支援の提供	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			記録を残した後に、振り返りの中で重要なことに関しては記録に追加したり、別紙で資料を作成しながら支援者同士での共有を徹底し、検証・改善につながるような取り組みを行います。
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		定期的なモニタリング・面談を保護者や関係機関と実施していき、成長に合わせた目標設定と重点的に取り組む内容を計画に入れていながら、支援の向上もできるように見直しを行います。
	20	安全に運動遊びができるよう用具の使用法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	7			はさみは利き手によって使いやすいものを用意したり、活動室の状況を見て出す運動器具や遊び方を決めながら、安全に配慮した支援を支援者全体で心がけていきます。
	21	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	7	1		特性だけでなく、その日その日の表情や言動、コンディションに合わせて距離感や声掛けの仕方を考えていく等、一人一人に合わせた支援方法や関わり方を打ち合わせをしながら共有していきます。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	3	4		子どもたちの気持ちの受容と許容を考えながら、一人一人の子どもが自分の気持ちを伝えられるように、信頼関係を深めていけるように支援を今後も見直していきます。
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		児童発達支援管理責任者（管理者兼務）が担当者会議に出席し、関係機関で共有した情報を支援の現場で共有し、日常の支援に活かしているように、今後はスキルアップのためにも児童指導員も参加していく等考えていきます。
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		下校時間や行事予定を保護者の方と連絡をして情報共有し、送迎時に園や学校にご迷惑をおかけしないように連絡簿を作ったり、トラブルにならないように準備や対応策を考えて業務に臨むようにします。
	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	3	医療的ケアが必要な児童が現状おらず、今後も受け入れる予定はないです（人員や受け入れる環境が整っていないため）。
	26	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	4	2	1	定期的な通院をされている子どもの服薬に関しての状況は書類を直接お借りしたり、個人情報の管理に気をつけながらLINEで情報をいただいていますので、引き続き連絡・確認をとっていきます。
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2		就学前からのご利用がほとんどであるため、市の発達支援センターから各関係機関での情報共有が会議等でできている体制になっています。気になったことは市の方にも連絡をし、情報共有する機会も増えてきたため、続けていきたいと思えます。
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4	1	他事業所との併用、移行に応じて多方面に不安がないように引き継ぎをしたり、情報提供ができるように準備や整理をしておき、会議の場や連絡をとる際にわかりやすく伝えられるようにしていきます。
	29	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		支援計画の目標変更や成長に合わせた支援内容に切り替えていく際にも、市の発達支援センターに相談や意見を伝え、今後も情報交換を必要に応じて行っていきます。
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		1	6	事業所として学童のお子さんに関わる機会は設けてはいたませんが、事業所に通いながら学童を利用されている方もいるため、学童での様子を聞いたり、送迎がある場合には可能であれば様子や環境を見ていながらあらゆる形で連携をとれるよう考えていきます。
	31	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	2	自立支援協議会への参加は今年度も多くはできませんでしたが、合同説明会にも参加し、多くの方々との交流の場ができたため、今後もつながりを広げていけるように時間をとっていきたくと考えています。
	32	写真付の連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	2	2	3	活動内容の共有に関しては、月1回活動の様子の写真をお便りと一緒に配布したり、写真の使用にあたって配慮が必要な方は個別にLINE等で写真を送り、活動の様子を確認していただいているため、今後も工夫しながら様子の共有を行っていきます。
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎の際や面談・ケース会議等で日頃の事業所での活動の中で見た様子をお伝えし、ご家庭の様子も含めた支援方法や取り組みを一緒に考えて、課題に向き合っていくようにしていきます。	
34	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6		研修会やオンラインでのセミナー等でペアレントトレーニングに関することを学び、保護者の気持ちのケアや配慮ができるようにさまざまな取り組みの中で、スキルを磨いていけるよう努めていきます。	

保護者への説明責任等	35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		ご契約をされる時に重要事項説明書や活動の様子をまとめた写真を用いて説明をし、ご利用が始まったからの不明点や疑問点は気軽にお聞きできるようにしていきながら、適宜説明を行っています。
	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		事業所での様子をお伝えしていく中で、保護者の方より子育ての悩みや葛藤に関してのお話が今後も出てくると考えられるため、面談の機会や直接お話できる機会を気軽に作れるように呼び掛けていきます。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	4	保護者同士での連携は大きな課題であり、また保護者の方々からも同じ悩みを持つ親同士で集まったりといった希望もあったため、今後はそういった機会を少しでも多く作れるように考えていき、保護者会や親子レクなどのイベントも取り入れながら交流の場を設けていきます。
	38	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3		保護者・現場（対応した）支援者・可能であれば子どもにも状況を聞いて整理した上で、対応に配慮が足りていない部分や至らない点においては謝罪をし、今後の改善点が何かを支援者全体で話し合っており、最終的には必要に応じ、児発管と保護者で面談を行っていく等、適切に対応をとっていきます。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			月に1度お便りと活動の様子（写真）を発行し、保護者へ配布しています。長期休みはイベントや外出もありますので、イベントの詳細を別紙で作成し、準備していただくものを一覧にしておき、ゆとりを持って利用の予定を立てられるような配慮を今後も継続していきます。
	40	個人情報に十分注意しているか	7			写真の使用、記録の取り扱いや、会議に必要な資料等、個人情報の管理においては支援者全体で細かく確認を行っていき、漏洩したりしないように十分に注意することを今後も意識として継続していきます。
	41	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	7			写真の使用に関しては用途に応じて同意を得てから使用しているため、取り扱いに注意しながら同意を得ていない部分で掲載等をしないように事前の確認を徹底していき、気をつけていきます。
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		事業所での取り組みや過ごしに関してご家庭でも共有していく機会を増やしていき、その中で出た言葉やどのように問いかけたかを確認し、お互いに少しでも伝わるような方法を一緒に考えていきます。
非常時等の対応	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	4	地域住民との交流はほとんどありませんが、近隣での活動の際（散歩・買い物・避難訓練等）にご迷惑をかけたたり、トラブルになったりしないように気をつけながら活動内容や職員配置を今後も行っていきます。
	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4		各マニュアルの周知を支援者全体、保護者にも伝えるようにデータベースでお知らせしたり、見えるところに設置しておく等の工夫をしています。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			計画を策定し年2回火災・地震想定での避難訓練の実施を行っています。また、あらゆる場面を想定し、どのようなケースがあり、どういった避難方法が必要かどうかを話し合っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			市で開催する研修会や勉強会、また内部研修においてオンラインでの研修も実施し、状況に応じて研修の受講の仕方考えながら進めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	1	6		身体拘束を必要とするお子さんはいませんが、支援を日々振り返り、他害等があるケースに関しては、事前に予防線を張りながら職員配置をしていき、トラブルにつながらないように対応していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	1	現状事業所で過ごしていく上で配慮が必要なアレルギーがあるお子さんはいないため、状況に合わせて医師の指示書をもとに対応していきます。
	49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		安全面に配慮していても、事故や怪けにつながったかもしれないといったケースは次に向けて改善点として振り返りながら、対応策を考えていきます。